

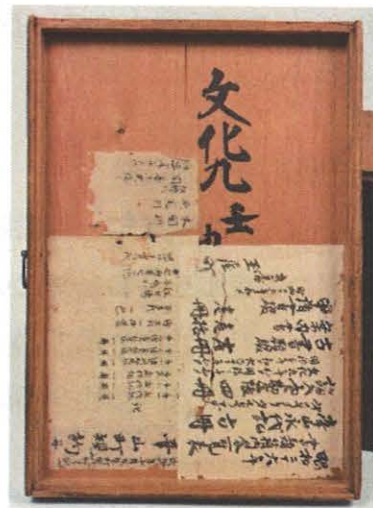
大津祭に関わる新資料の発見について

大津祭の祭礼記録が書き継がれた「四宮祭礼牽山永代伝記（以下、永代伝記）」（市指定有形民俗文化財・NPO 法人大津祭曳山連盟蔵）を収納していた木箱と、その中に納められていた関連資料が、曳山町の山蔵から見つかった。

調査の結果、この木箱は大津祭の祭礼行事の責任者を務める当番町が管理し、関係資料とともに引き継いでいたもので、元々は永代伝記もこの木箱に収納されていたことがわかった。



今回見つかった資料



文化9年の箱書

《発見の経過》

昨年9月、大津祭の湯立山を毎年出山する玉屋町自治会の関係者から、曳山永代伝記の続きが蔵から見つかったという連絡を受けた。確認したところ、冊子には「四宮祭礼牽山永代記 九」と書かれ、市指定文化財となっている8冊の永代伝記の続きであることが確認できた。ついては、冊子が収納されていた木箱と他に収納された資料を歴史博物館で預かり、内容について調査することになった。

《新たに確認された資料》

今回見つかったのは、①文化9年（1812）の墨書が記された箱、②文化9年以降に祭礼の運営にかかる金額を記した帳簿（勘定帳）、③江戸から大正時代に書かれた記録の綴り、④永代伝記（昭和30年代の祭礼記録）からなる。

① 木箱（文化九年箱書） 1点

木箱は蓋付の箱で下に引き出しがついたもの。蓋裏には制作年と思われる文化9年が墨書されている。また、明治と昭和に収納物を確認した際のメモが貼られ、その中には今回の内容物とともに「永代記」の文字が見える。このことから、永代伝記がこの箱に収納されていたことが裏付けられる。また、以前は鬨取式に使うくじの版本も収納されていたことがわかる。

② 四宮祭礼勘定帳 4冊

祭礼行事に使用した費用を書き上げたもの。永代伝記と同様に、当番町が記録する。祭礼終了後、かかった費用を参加町内数で割って精算した。帳面は文化9年から昭和32年まで記録されている。また、冒頭には箱をまわす順番（当番町の順序）が記されている。

③ 四宮祭礼関係文書綴 1冊

江戸から大正時代まで、当番町が収受した文書を綴じたもの。多くは祭礼行事の開催に関わる曳山を持つ各町とのやり取りの記録だが、江戸時代に七組（大津の町役）から出された文書や県庁から発出された文書は、永代伝記に書き写された原本が含まれ、冒頭には「曳山当番町保管重要書類」の貼紙がある。

④ 四宮祭礼牽山永代記 九 1冊

永代伝記の9冊目。これまで確認されているのは昭和32年までの記録8冊で、本資料は33年から37年までの記録であることから、本資料が永代伝記の続きだと確認できた。この期間の記録には、大津祭が県選択文化財になったこと、琵琶湖祭や琵琶湖文化館の開館にあわせて囃子を披露したこと、丸屋町にアーケードが設置されたことなどが記されている。

《本資料の位置づけ》

木箱が製作された文化9年は、『永代伝記』によれば、祭礼行事に参加する町年寄（16町）が連署し、祭礼行事に関する決め事を申し合せた「定書」を作成した年にあたる。ここには「一 今度牽山当番町相定、記録并諸帳面箱大切二相預り、順々相廻し可申候事 但諸入用取集并払方、九月十七日参会之節勘定可致候事」とあり、大津祭（四宮祭礼）の運営役となる当番町制度の創設とともに、当番町が

記録や帳面を箱に収納して引き継ぐことが取り決められている。木箱と資料はここに書かれた「記録并帳面箱」の実物にあたる。

慶長年間に鍛冶屋町の塩売治兵衛が狸面をかぶって踊ったことに始まる大津祭は、その後各町が曳山やねりものなどで参加することで祭礼が拡大した。文化9年に定書が作られた正確な意図は不明だが、祭礼に参加する町が固定化するなかで、毎年滞りなく行事を行うため、行事進行や費用分担に関するルールが必要になったと想像できる。言い換えれば、この年が大津祭（四宮祭礼）の祭礼行事が統一した意思のもとで行なわれるようになった節目だったといえる。

今回確認された木箱と資料は、これまで確認されていた市指定文化財の永代伝記とあわせることで、地方都市の祭礼である大津祭（四宮祭礼）が、行事として整えられていく経緯を示す、貴重な資料であるといえる。

《参考》四宮祭礼牽山永代伝記（市指定文化財）について

大津祭の歴史を記す唯一の史料。第一巻は文化10年（1813）の写しになるが、慶長年中（1596-1615）の曳山巡行の発生、「ねりもの」から「曳山」へ移行する年代と名称など、祭礼の由緒と「曳山」「ねりもの」の変遷や祭礼の実際がわかる。二巻からは原本で、祭の運営にあたる当番町が、祭礼執行の月日や鬺取番列など、曳山祭礼の内容を中心に、当時の世相も合わせて記している。単なる祭礼行事の記録にとどまらず、近世・近代の大津を語る上での貴重な史料でもある。



四宮祭礼牽山永代伝記（市指定文化財） 大津祭曳山連盟蔵